

# 令和5年新春座談会

## 命を守る

～いざという時に備えて～



### 対談者

廣崎 康一さん 繁名 勝男さん 遠藤 譲一市長 日當 ます美さん 伊藤 知子さん 大石 純夫さん

## さまざまな視点から防災についてお話を伺いました。

私たちが思いもよらないような自然災害が全国、そして世界的にも多発しています。県から最大クラスの地震・津波被害想定も公表されました。災害はいつ起こるかわかりません。予期せぬ災害に私たちができることはなにか。日頃の備えとして一緒に考えましょう。

### 過去の教訓

■市長 新年あけましておめでとうございます。今年、NHK連続テレビ小説「あまちゃん」が放映されてから10年目を迎えます。また、4月中旬に道の駅「いわて北三陸」がオープンなど明るい話題があります。その一方で、令和4年9月に県から最大クラスの地震・津波被害想定公表がありました。

過去には、平成23年の東日本大震災、平成28年の台風第10号、令和元年の台風第19号と大きな災害を経験しました。災害に対する思いやその時に感じたことな

ど、お聞かせください。

■繁名 平成23年は消防職員として勤務していました。退職まであと20日というタイミングでこれまでで一番大きな災害を経験。久慈管内で、防波堤に2人津波が押し寄せたのを見ていた人がいました。消防団員が必死に避難を訴えたのですが、2人はその場から離れず、被災したそうです。

自分だけは大丈夫だと過信してしまう人がいます。そういった人を減らしたいと強く感じました。

9月に、県の津波被害想定が発表されました。東日本大震災と違うのは、避難



### 消防審議会会長

はん なかつお 繁名勝男さん



要支援者の避難行動も想定した避難訓練

できる時間がかなり短く、危機感を抱いています。

■市長 おおよそ30分まで到達するといわれています。

■繁名 家族で夜間や早朝に災害が起きた場合の想定も必要です。今津波が来たらどうするのか、皆さんに避難の認識を強く持つていただきたいと思っています。

■廣崎 私は漁師をしており、東日本大震災は沖にいました。携帯電話は不通。食料はバナナ2本。何も見通しがない中で燃料を使うわけにもいかず、毛布に包まって寒さをしのぎました。夜になり、船を走らせると、外からものすごい音がしました。何事かと灯かりを付

けると、あたり一面が漂流物で、これは大変なことになったと感じました。

■日當 東日本大震災は、とにかく怖いという印象が強く残っています。私は4人家族で、2人の子どもがいます。震災当時、長女が4歳。アレルギーを持つ息子は1歳3カ月でした。あの時間は、お昼寝で息子を

寝かし付けていたのですが、あまりの揺れに息子に覆いかぶさるようにうずくまりました。心配で駆けつけてくれた近所の人の声掛けで我に返り、保育園にいる長女を車で迎えに行きました。恐怖心で胸がいっぱいで窓を全開にし、防災無線に耳を傾け運転しました。途中、70代の親戚の家に立ち寄り、共に行動。保育園に

### 久慈市消防団団長 廣崎康一さん



いる娘はすでに高台に避難して無事でした。避難してきた近隣の住民の人と一緒に、黒い津波を見ました。本当に着の身着のままでしたから、軽装でした。息子を私のコートで包んでいたのですが、その場にいた人が毛布を1枚息子に付けてくれました。優しさに触れ、ありがたいと思うと同時に、薬やケア用品なども携帯していなかったことを心から反省しました。幸い自宅に戻ることができましたが、あのまま過ごしていたらと考えると、ぞっとします。

その時の反省を踏まえ、家族と機会を見つけて、時折防災について話しています。学校で災害が起きた場合、息子は命を守るための薬を携帯して避難することになっています。要配慮者の中には数時間後に服用しなければならぬ薬があるかもしれない。学校と相談してルール作りをしてほしいと思います。

### 防災意識を高める

■市長 一般論ではなく身近なところで起きていることを自分事として捉え、伝えていくということも必要ではないかと感じました。地域によって抱えている問題はさまざまです。各々の課題に取り組み、地域事情に合わせた避難訓練の実施も必要だと考えています。県のモデル事業に取り組み、自主防災組織で活発に活動している東広美町の大石さんからお話いただきました。ありがとうございます。

■大石 東広美町が自主防災組織を結成したのは、平成30年です。平成29年に町内会のスローガンを「安心

安全な町内会を目指そう」と決め、市の避難訓練に1人でも多くの人が参加するよう取り組みました。避難行動要援護者名簿の共有等に関する協定も締結。消防防災課から防災学習会を開催してもらい、自主防災組織を設立。また、県の自主防災組織活性化モデル事業に参加し、町内の防災意識を確認。避難を誘導することの難しさを感じました。



県モデル事業の成果